

市議会定例会[3月]

提出議案の概要について



本物力こそ桑名力

令和2年3月議会の主な議案



本物力こそ桑名力

一般会計当初予算

総額 508.2億円 ・ 令和元年度当初予算と比べて2.0億円（0.4%）増

各会計当初予算の規模

	予算額	（前年度比）
一般会計	508.2億円	（ + 0.4% ）
特別会計	277.4億円	（ + 0.1% ）
企業会計	140.0億円	（ + 0.4% ）
総計	925.5億円	（ + 0.3% ）

条例の改正

- 桑名市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正
 - 公有財産の無償貸付け又は減額貸付けの対象を拡大し、行政財産の弾力的な有効活用及び公民連携の更なる促進を図る。
- 桑名市企業等誘致促進条例の一部改正
 - 企業にとって人材確保が大きな課題となっていることから、増設及び移転の場合の雇用要件をなくし、市内企業の積極的な設備投資の促進を図る。
- 桑名市斎場条例の一部改正
 - 他の動物と合同で行っていた動物の火葬を個別に行うことができるよう、動物の個別火葬についての使用料を定める。

令和2年度当初予算の編成にあたって Challenge to change!



本物力こそ桑名力

現状維持ではなく、果敢に挑戦し、変革すべき時代に立っている！

持続可能なまちへ

成長し続けるまちへ

これまで当然のことと考えられていた認識や思想、価値観が劇的に変化していく

将来的な人口縮減
・進む少子高齢化

生産年齢人口減少
労働者不足

デジタル化による
行政効率化

Society5.0
(超スマート社会)

5G

自動運転

AI

IoT

RPA

ドローン

医療・介護需要
の増加

新技術による
地域課題解決

災害リスク
の高まり



台風・集中豪雨
の防災・減災

人生設計・
価値観の多様性

地震・津波の
防災・減災

グローバル
社会への適応

グローバル社会
・ダイバーシティ
(多様性)



SDGs(持続可能な開発目標) 持続可能なまちづくり



本物力こそ桑名力

- SDGsが示す様々な目標は、社会的課題を乗り越えて、未来に通じる持続可能なまちをめざす上でも重要。
- 自治体として、SDGsに掲げる目標を達成し、持続的に市民の安全・安心な暮らしや豊かな地域社会を実現していくため、未来を見据えた行財政運営を進める必要がある。



※SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた国際社会共通の目標。17の目標と169のターゲット(具体目標)がある。

持続可能な行財政運営の方向性 《イメージ》



本物力こそ桑名力

変革への挑戦を続け、7つのビジョンを実現させよう！

中央集権型から全員参加型の市政に

命を守ることが最優先

こどもを3人育てられるまち

世界に向けて開かれたまち

地理的優位性を活かした元気なまち

桑名をまちごと『ブランド』に

納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

SDG s 持続可能なまちづくりの推進

スマホのようなスマートで便利な自治体に

民間事業者との
パートナーシップ

地域住民・コミュ
ニティの活躍



規模を小さく
コンパクトに

オールインワン
多機能複合化

行政手続き
デジタル化

縦割りを打破
ヒト・モノ・情報
のシェア

先端の革新的な
技術の活用

多様な外部人材
の登用

異分野連携
のシナジー

地域包括ケアシス
テム・共生社会

令和2年度当初予算の特徴

市民の暮らしを守り、未来につなぐ



本物力こそ桑名力

全国で相次ぐ自然災害を踏まえ、市民の命や財産をしっかりと守り、暮らしの安全・安心が確保されるまちをめざして取り組んでいく。

また、変化のスピードが速い社会情勢を的確に捉え、挑戦・変革を恐れず、未来につなぐ持続可能で成長しつづけるまちをめざして取り組んでいく。

災害に打ち克つまちへ

- ・ 防災・減災、国土強靱化を進めるため、防災拠点施設・津波避難施設の整備とともに、昨年発生した各地の大規模な浸水被害を踏まえて河川の浚渫等を実施。

果敢に挑戦・変革するまちへ

- ・ 桑名駅自由通路及び橋上駅舎の供用開始に向けた整備、多度地区における小中一貫校の整備を進めるほか、先端技術を活用した自動運転バスの実証実験を実施。

「誰一人取り残さない」まちへ

- ・ S D G s の目標・理念をもとに外国人住民に対する支援、福祉総合相談窓口の拡充のほか、桑名のブランドはまぐりの体験学習や竹資源循環創出事業を実施。

災害に打ち克つまちへ①

防災拠点施設整備事業

- 整備を進めている（仮称）星見ヶ丘防災拠点施設において、災害発生時の支援物資受入れ等の災害応急対策に必要な備品等を調達・整備し、施設供用開始の準備を着実に進める。

津波避難施設整備事業

- 南海トラフ巨大地震における津波想定等を踏まえ、付近に高台等がない避難困難地域である長島町伊曾島地区に、一時的な避難施設として、津波避難誘導デッキの整備を進める。

⑧ 緊急浚渫推進事業

- 昨年台風による各地の河川氾濫などの大規模な浸水被害を踏まえ、市管理河川の浚渫（堆積土砂等の撤去）等を実施し、河川における治水対策を強化する。

災害に打ち克つまちへ②

① 避難行動要支援者名簿更新

- 災害発生時に要介護者や障害者等の避難行動に支援を要する方を事前に把握し、迅速に避難支援を行える体制を構築するため、避難行動要支援者名簿を更新する。

② 宅地耐震化推進事業

- 地震等発生の際、造成宅地での崖崩れや土砂流出による災害が各地で生じていることを踏まえ、市内既存の造成宅地について、大規模盛土造成地の位置の把握とそれらの安全性の確認を進める。

森忠・江場地区道路改良事業

- いわゆるゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨が近年多発していることを踏まえ、対策が必要な地域の道路・排水施設等を整備し、浸水被害の軽減を図る。

果敢に挑戦・変革するまちへ①

桑名駅自由通路・駅周辺整備事業

- 桑名駅自由通路及び橋上駅舎の本年8月末の供用開始に向けて整備を進め、新たな人の流れの創出、利便性の向上を図る。また、民間事業者の提案をいただきながら、桑名駅周辺の整備・にぎわい創出を推進する。

① 新 多度地区小中一貫校整備事業

- 義務教育9年間を見通した「縦のつながり」と地域・保護者・学校の「横のつながり」通して、子どもたちの「学び」と「育ち」を支える学習環境の整備を目指し、多度地区で施設一体型小中一貫校の整備を進める。

次世代モビリティ推進事業

- 社会情勢の変化に対応し、持続可能な交通手段の確保のため、自動運転バスによる実証実験を実施し、「桑名市次世代モビリティ社会実装研究会」において検証等を行う。

果敢に挑戦・変革するまちへ②

A I 等活用推進事業

- 革新的な技術の登場、政府が掲げる新たな社会像「Society 5.0」を踏まえ、RPAやAI-OCR等新たな技術を行政業務に導入し、市職員の事務負担を軽減し、市職員でなければできない業務に注力できる体制づくりを推進する。

⑧ ICT活用学力向上事業

- 市内小中学校ではICT活用の授業実践が進められている。放課後等に子どもたちが学習に取り組む市内施設においても、学校と連携しながら教育アプリ等を活用した学習を導入し、学習意欲・学力向上を図る。

I o T 保育管理事業

- 保育士の事務を効率化するとともに、保護者の利便性向上を図るため、保育所にICTシステムを導入して登園管理、保育日誌作成・管理等に活用し、ひいては保育の質の向上を図る。

「誰一人取り残さない」まちへ①

① 新 多文化共生推進事業

- 外国人住民が年々増加している中、多言語対応の翻訳システムを導入するとともに外国人住民に対するヒアリング調査を実施し、外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを進める。

福祉総合相談事業

- 子育て、介護など複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応する「福祉なんでも相談センター」を大山田地区で開設しているが、新たに多度地区・長島地区においても福祉総合相談窓口を開設し、相談支援体制を拡充する。

多世代共生型施設整備事業

- 高齢者・障害者・子ども等に対して、通所や入所、相談等を包括的に提供する多世代共生型施設の整備を進める。整備にあたっては、公民連携の手法も導入しながら、施設の複合化・多機能化も図っていく。

「誰一人取り残さない」まちへ②

地域コミュニティ推進事業

- 「市民の個性が活かせる地域コミュニティ」を確立するため、意識の醸成を図りつつ人的・財政的支援を行い、（仮称）まちづくり協議会の形成に向けた取組を進める。

くわなの宝はまぐり体験事業

- 桑名のブランドの一つである「はまぐり」の歴史や、復活の取組等を学ぶとともに、干潟での潮干狩りを体験することにより、SDGsの目標・理念に基づく未来に向けた環境保全活動・環境学習を推進する。

竹資源循環創出推進事業

- 放棄竹林の整備や桑名の竹資源を用いたバイオマスプラスチック新商品のPR活動、市内工業高校との協働事業など産官学金で推進し、SDGsの目標・理念に基づく未来に向けた農業・経済活動を推進する。

財政健全化へさらに一步を踏み出す

これまでの「改革」による財政危機突破



本物力こそ名力



財政の危機的な状況を突破!

- 普通交付税の合併算定替えによる段階的縮減の終了
- 直近の決算 (H30) では経常収支比率などの主な財政指標が改善

令和2年度当初予算ではさらに一步踏み出す①



本物力こそ桑名力

次の世代に責任ある財政に！

令和2年度当初予算では

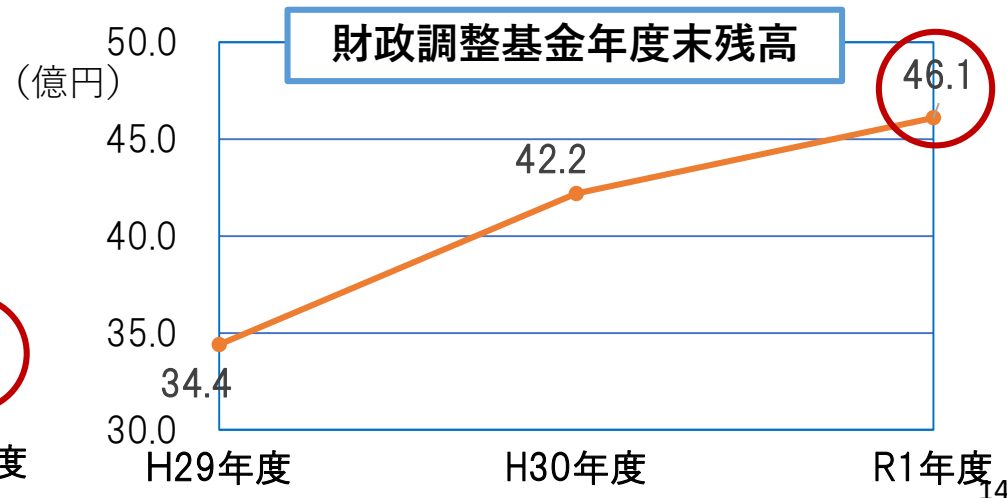
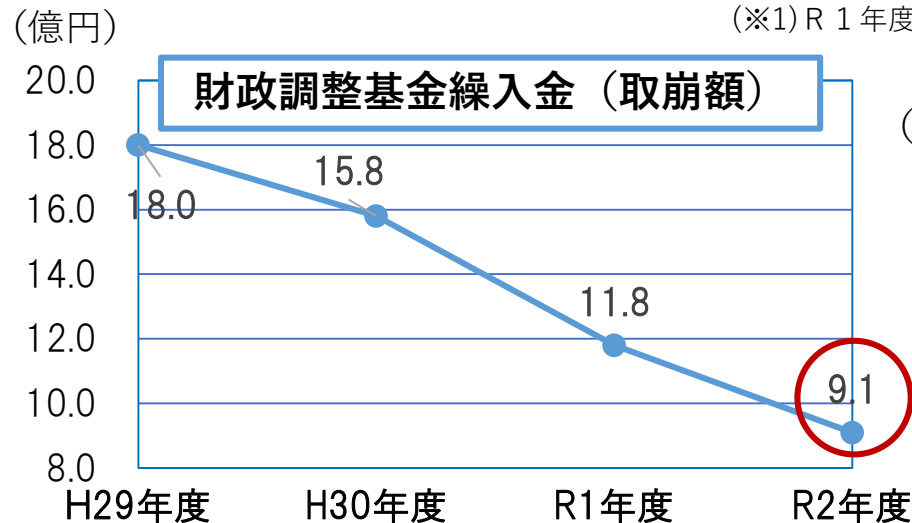
【貯金】基金⇒コツコツ貯金ができる財政構造に！

➤ **財政調整基金の繰入金（取崩額）を抑制**

⇒財政調整基金の繰入金（取崩額）は前年度比で2.7億円減の9.1億円

財政調整基金	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
繰入金（取崩額）＜当初予算額＞	18.0億円	15.8億円	11.8億円	9.1億円
基金年度末残高＜決算額＞（※1）	34.4億円	42.2億円	46.1億円	—

（※1）R1年度は見込み、R2年度は年度中の積立額が推計困難なため「—」とした。



令和2年度当初予算ではさらに一步踏み出す②



本物力こそ名力

次の世代に責任ある財政に！

【借金】市債⇒借金に頼らない！

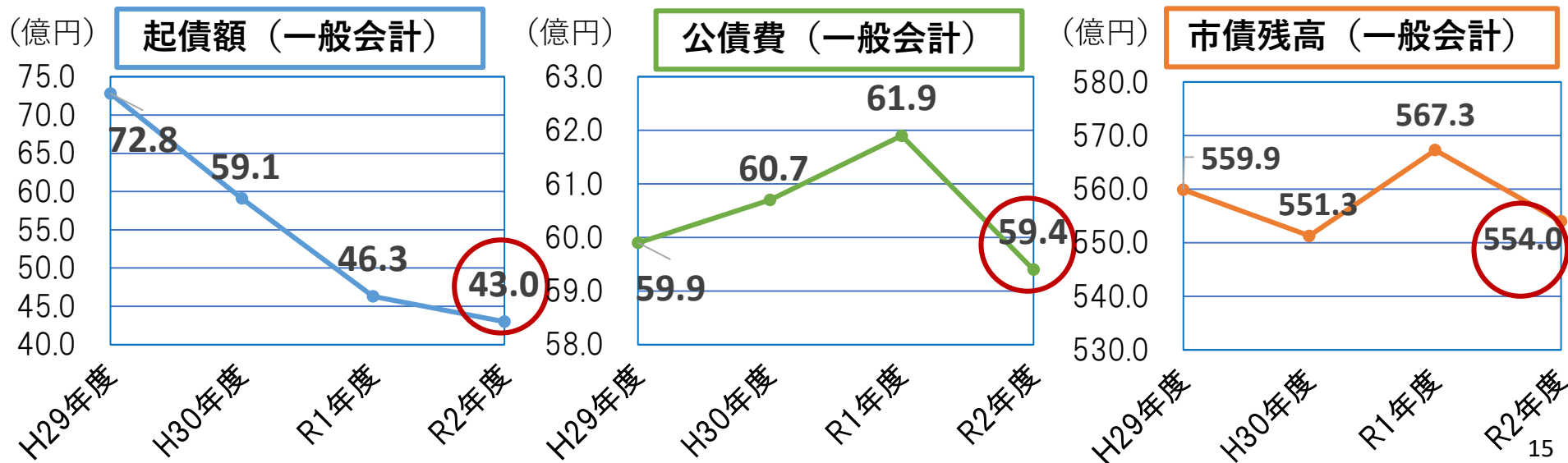
➤ 起債額（※2）、公債費（※3）及び市債残高いずれも抑制

【一般会計】	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
起債額<当初予算額>	72.8億円	59.1億円	46.3億円	43.0億円
公債費<当初予算額>	59.9億円	60.7億円	61.9億円	59.4億円
市債残高<決算額>（※4）	559.9億円	551.3億円	567.3億円	554.0億円

（※2）市債を借り入れる額

（※3）借り入れた市債の元利償還金

（※4）R1年度・R2年度は見込み



令和2年度当初予算での新たな取組

「がんばり“見える化”予算」を創設①



本物力こそ桑名方

がんばり“見える化”予算とは

市職員の創意工夫、新たな手法・アイデアによる歳入の増収や経費節減の成果を評価し、増収額または節減額の一部を所属部署の翌年度当初予算へ還元する制度を創設。令和元年度上半期の取組により約321万円の経費節減の効果額が出ており、156.4万円をがんばり“見える化”予算付与額とした。

令和元年度上半期（4月～9月）における取組		効果額（円）	付与額（円）	所 属
経費節減	検診受診票の送付対象者等の見直し	1,833,432	1,101,000	保健医療課
	住民基本台帳閲覧用名簿出力の見直し	933,427	374,000	戸籍・住民登録課
	水道料金の削減	153,488	89,000	教育総務課 (多度学校給食センター)
	照明設置工事費の削減	239,220		
	蛍光灯の共同購入	16,200		
	消耗品費の削減	32,400		
合 計		3,208,167	1,564,000	

「がんばり“見える化”予算」を創設②



本物力こそ桑名力

がんばり“見える化”予算付与額は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算に優先配分することとしている。

今回のがんばり“見える化”予算付与額156.4万円については、所属課の意向に沿って、74.6万円を令和2年度当初予算に反映し、81.8万円を令和3年度当初予算に反映する。

令和2年度当初予算では、以下の経費に予算配分する。

令和2年度当初予算反映分

・ 子宮がん検診検査における液状化検体法の導入	55.7万円
・ 市役所の待合スペースや窓口整備	10.0万円
・ 学校給食における食器購入	8.9万円
合 計	74.6万円



一般会計補正予算(第11号)の概要

一般会計補正予算(第11号)については、緊急性があり、早急に予算
配当・執行の必要がある経費を予算計上する。

補正予算の規模

	補正額
一般会計補正(第11号)	5億1,390.4千円

事業内容

◆ ふるさと応援寄付推進事業費(総務費)

- 「ふるさと納税」の件数増加に伴う記念品料及び事務費を増額する。

※ 寄附見込額：当初3億円→補正後4億円

◆ 教育ICT環境整備事業(教育費)

- 国の補正予算を受けて、小中学校の校内通信ネットワーク整備費を計上する。

※ 債務負担行為で、小中学校全ての児童生徒の1人1台端末整備費を計上する。



本物力こそ桑名力

桑名卓球珈琲プロジェクト 1周年記念イベント開催



卓球珈琲

タツキユウ カフェ

公民連携で桑名卓球珈琲プロジェクト始動



桑名市
ネスレ日本
卓球で日本を元気にする会
ニュートリション運動推進会議
子どもの健康づくり委員会
朝日エル
桑名総合医療センター

公民連携



「卓球」

+

「カフェ」

||

「地域を元気に！」



卓球珈琲オープン

【開設日】 平成31年3月21日(祝)

【開設場所】 城南まちづくり拠点施設

【主な活動内容】

- ・ 市民が卓球を楽しみながらコーヒーで交流
- ・ H31.5月beyond2020マイベストプログラムの認証を受け、7月からマイベスト応援プログラムが始まる
- ・ 健康づくりプログラムによる運動と交流の機会創出



平成31年3月21日オープニングテープカット



卓球を楽しむ地元市民

「卓球珈琲」健康づくりプログラム

- 趣旨 市民の健康づくりと楽しく交流できるまちづくりに向かって、市・医療機関・団体・企業等が協力して実施する。
- 実施期間 令和元年8月21日(水)から11月29日(金)
- 参加者数 50代から80代の市内在住の男女 17名
- 内容
 - ①ヘルスケア教室【全3回】 桑名市総合医療センター 講師派遣
 - 1回目「健康づくりのための食生活」
 - 2回目「卓球で健康寿命を延ばそう～楽しくするために必要なこと～」
 - 3回目「糖尿病と運動療法について」
 - ②健康卓球・珈琲(カフェ)交流【全6回】
- 評価方法 プログラム参加「前」「後」でアンケート、身体計測を計2回実施



【血液検査】

- ・3か月間で脂質値が変化、特に中性脂肪が減少傾向

【日常生活の状況について】(三重県特定健康診査質問票)

- ・プログラム前後の比較で、「同年代と比較して歩く速度が速い」「睡眠で休養が十分とれている」と回答した人が増加
- 歩くスピードが速くなった人、ぐっすり眠れるようになった人が増加

【地域への愛着】

- ・特に男性の「地域のことをもっと良くしたい」など活動意欲が向上

桑名卓球珈琲プロジェクト1周年記念イベント開催



- 開催日 令和2年3月15日(日) 午後1時～3時
- 開催場所 城南まちづくり拠点施設
- イベント内容
 - ・健康づくりプログラム結果報告
 - ・地域づくり講演会
 - ・桑名総合医療センター医師によるヘルスケア教室
 - ・インストラクターによる卓球体験
 - ・カフェ体験 など



インストラクターによる卓球体験



カフェ体験



医師によるヘルスケア教室

忙しいパパママのために...

2月にイベントを
実施します！

家庭での食育推進とパパママ家事時短支援

プレスタート



いただきます

ごちそうさま



現 状

保護者の声

近年、不規則な食習慣や栄養の偏りが問題となる中、家庭での食育の推進は心身の健全育成を図るうえで、非常に大切なことでもあります。しかしながら、保育所に通っている保護者は、普段から仕事と家事に追われ、「忙しくて時間のかかるものは作れない」、「毎日の夕食の準備は大変で、作り置きになってしまう」という声をよく聞きます。

現状を踏まえて

食育の推進と同時に家事の負担軽減を図るため、保育所で調理した食を通して、新たな食育推進事業を実施します。

2月に食育推進イベントを実施します。
今後の食育推進の環境づくりを進めるとともに、食を通しての家事時短支援に取り組んでいきます。



イベントの内容

◎延長保育の利用者が多い3か所の保育所で食育推進イベントを実施します。

- 《場所》
- ①厚生館保育所 《2月18日(火)》
 - ②山崎乳児保育所 《2月20日(木)》
 - ③桑陽保育所 《2月25日(火)》

○保育所で調理したおかずをレシピ付きで保護者に提供します。

⇒給食調理業務委託事業者により調理

メニュー：鶏肉のさっぱり煮と切干し大根の煮物（予定）

○食育に対する考え方や家事に費やす時間などアンケートを実施します。

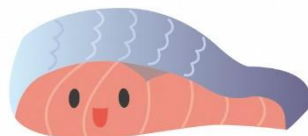


今後の推進に向けて

食育推進イベントのアンケート結果をもとに、今後、保育所で作られる給食のメニューを参考に、夕方、新たに調理したおかずを保護者の方に提供（予約制：参加費必要・レシピ付き）し、家庭での食育の実践、推進を図っていきます。

また、食の提供を行うことで、食育の推進と併せて、保護者の家事時短の支援に繋がっていきます。

実施場所と致しましては、まず、延長保育の利用が多い厚生館保育所、山崎乳児保育所、桑陽保育所の3か所で行う予定です。
メニューとしては、かぼちゃのそぼろ煮、魚の揚げ煮、筑前煮など、調理に時間のかかるメニューや季節を感じられるメニューを検討中です！！



事業の効果

①食に対しての知識・興味を持つことで、望ましい食習慣の定着や食を通じた豊かな人間性、心身の健全育成を図ります。また、食の提供と一緒に、わかりやすいレシピを配布することで、家庭での食育の実践・推進に繋がっていきます。



②食の提供を通して、帰宅が遅くなる保護者の買い物時間や夕食の準備時間を短縮し、家事の負担軽減を図ります。また、食材を通して食卓での学びや親子の会話を増やす機会を広げます。





本物力こそ桑名力

ネーミングライツ・パートナー シップ

契約調印式について

桑名市のネーミングライツ・パートナーシップ

○ネーミングライツとは・・・

ネーミングライツ（命名権）は、市の施設に企業名・商品名などを冠した愛称（ニックネーム）を付与し、名称として使用することで企業等から市が対価等を得て、施設の良好な管理運営に役立てるものです。桑名市では平成27年度から開始して、今回が8件目です。

○今までの実績

施設名	愛称	提案者	金額 (年額)	期間	役務の提供
桑名市総合運動公園	NTN総合運動公園	NTN(株)桑名製作所	200万円	7年間	なし
桑名市民会館	NTNシティホール	NTN(株)桑名製作所	50万円	5年間	あり
桑名市体育館	ヤマモリ体育館	ヤマモリ(株)	100万円	5年間	あり
吉之丸コミュニティパーク	柿安コミュニティパーク	(株)柿安本店	30万円	7年間	あり
陽だまりの丘中央歩道橋	ダイワハウス 陽だまりの丘中央歩道橋	大和ハウス(株)四日市支店	20万円	3年間	なし
播磨中央公園	エイベックス 播磨中央公園	エイベックス(株)	50万円	7年間	あり
陽だまりの丘歩道橋	エイベックス株式会社陽だまりの丘歩道橋	エイベックス(株)	20万円	5年間	あり

ネーミングライツ・パートナーシップ提案

提案者

ノザキ製菓株式会社（本社：名古屋市）

※多度町に工場があり、工場の目の前が対象施設



提案対象施設・愛称

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ○多度アイリスパークみぞの | ⇒ノザキ製菓アイリスパーク |
| ○多度アイリスパーク球場 | ⇒ノザキ製菓アイリスパーク球場 |
| ○多度アイリスパークグラウンド | ⇒ノザキ製菓アイリスパークグラウンド |

提案金額(年額)・期間

40万円(3施設) 5年間

役務の提供

- ・施設内の清掃活動
- ・施設内のチェックパトロール(簡易点検)
- ・大会などの施設利用者参加者への商品提供



ネーミング・パートナーシップ契約調印式

■調印日時

令和2年2月13日（木） 午後1時

■場所

桑名市役所3階 第2会議室

■出席者

桑名市長 伊藤 徳宇

ノザキ製菓株式会社代表取締役 野寄 伸夫

《会社概要》

本社は名古屋市で、桑名市内に長島工場、多度工場があり、チューイングガムのほかに、特殊な製造技術を生かし、チョコレートや口どけの良い特殊キャンディーを製造する菓子食品メーカーです。平成30年には地域の特性を生かし、高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強くけん引する事業を積極的に展開することが期待される企業に与えられる「地域未来牽引企業」に選定される。

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式



本物力こそ桑名力

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」

本協定は、桑名市と生活協同組合コープみえ様における協定の締結となります。

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式



本物力こそ桑名力

★協定の主な内容

大規模災害時・・・

(1)物資供給について

生活協同組合コープみえが調達可能な
物資の供給

(2)物資配送について

支援物資及び桑名市が管理する災害用
備蓄品を桑名市が指定する避難所等へ
配送

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式



本物力こそ桑名力

桑名市では、市内約1万5000世帯がコープみえの宅配サービスなどを利用しており、桑名市城山台の配送センターに1.5tトラックなど23台の配送車を所有しています。

災害時には、その配送車にて物資等を配送していただきます。

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式

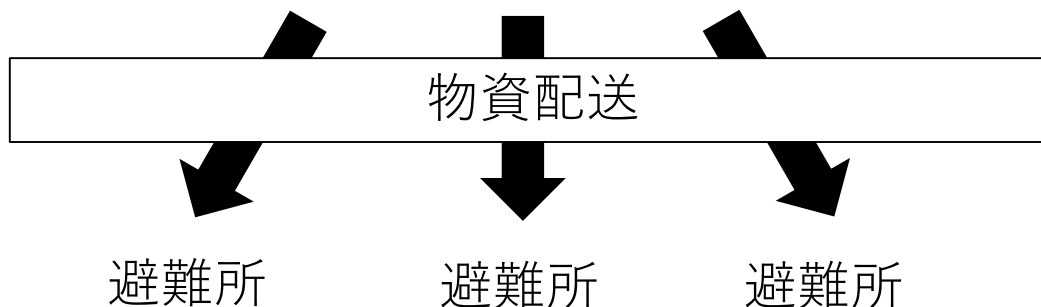


本物力こそ桑名力

(例)



防災拠点施設 (イメージ)



コープみえ様から供給いただける支援物資のほか、市が備蓄する物資についても配送していただけます。

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式



本物力こそ桑名力

詳しくは・・・

本日、このあと、**14時30分**からこの場所
で

生活協同組合コープみえ様と桑名市による「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」締結式を行います。